

YMFG NEWS RELEASE

2019年8月27日

各 位

株 式 会 社 山 口 銀 行

山口銀行文化支援事業 やまぎんコンサート 開催のお知らせ (第64回 山口県交響楽団演奏会)

山口銀行(頭取 神田 一成)は、地域における芸術文化の振興に寄与することを目指し、山口銀行文化支援事業「やまぎんコンサート」として、山口県交響楽団、やまぐち文化プログラム実行委員会(山口県、山口県文化連盟、一般社団法人山口県観光連盟、公益財団法人山口きらめき財団)、山口県教育委員会などと共に、山口県総合芸術文化祭2019「第64回 山口県交響楽団演奏会」を開催しますので、お知らせいたします。

1. 日 時 2019年12月1日(日) 14:00開演 (13:00開場)
※開演までの間、ウェルカムコンサートを行います。
2. 会 場 山口市民会館大ホール(山口県山口市)
3. 主 催 山口県交響楽団、やまぐち文化プログラム実行委員会(山口県、山口県文化連盟、一般社団法人山口県観光連盟、公益財団法人山口きらめき財団)、山口県教育委員会
4. 共 催 山口市、山口市教育委員会、tys テレビ山口、株式会社山口銀行
5. 演奏曲目 ポロディン / 交響詩「中央アジアの草原にて」
ストラヴィンスキー / バレエ組曲「火の鳥」(1919版)
リムスキー=コルサコフ / 交響組曲「シェヘラザード」
指 揮 後藤 龍伸
演 奏 山口県交響楽団

以 上

【本件に関するお問合せ先】

山口フィナンシャルグループ 地域振興部 夏目
TEL: 083-223-4477



山口県総合芸術文化祭 2019

第64回山口県交響楽団演奏会



山口銀行

山口銀行文化支援事業

やまぎんコンサート

プログラム

ボロディン：交響詩「中央アジアの草原にて」

ストラヴィンスキー：バレエ組曲「火の鳥」(1919年版)

リムスキー＝コルサコフ：交響組曲「シェヘラザード」

指揮：後藤 龍伸



Yamaguchi Prefecture Symphony Orchestra



2019年12月1日(日)

会場：山口市民会館大ホール

※開場13時、開演14時(開演までの間にウェルカムコンサートを行います)

●全席自由席／一般1,500円 小・中・高校生1,000円

■主催／山口県交響楽団 やまぐち文化プログラム実行委員会(山口県、山口県文化連盟、(一社)山口県観光連盟、(公財)山口きらめき財団)、山口県教育委員会 (公財)山口市文化振興財団

■共催／山口市 山口市教育委員会 ■協賛／山口宇部空港ビル株式会社

山口市民会館 山口情報芸術センター グランドミック三好屋楽器、山口県庁職員会館売店 防府市地域交流センター(アスピラート) グランドミックタマシゲ楽器

●駐車場が込み合うことが予想されるため、なるべく公共交通機関で来場ください。駐車場の台数に限りがありますので、満車の際は近隣の駐車場をご利用ください。

●演奏会の模様は、tysテレビ山口により収録され、年末に放映される予定です。

●託児を希望される方は、11月24日(日)までに下記までお申し込みください。定員になり次第しめ切ります。

E-mail yamakyu1955@gmail.com 問合せ先 090-6437-3916(尾中)090-9414-8043(桑原)

Yamaguchi Prefecture Symphony Orchestra

Profile

指揮：後藤 龍伸

1964年東京に生まれる。幼少時代をブラジルのサンパウロで過ごし、ナタン・シュヴァルツマンとマリア・ヴィッシニアの両氏にヴァイオリンを、オリヴィエ・トニに和声・対位法を学び、またサンパウロ州立大学における講習会にてラファエル・ヒリアー、サシコ・ガブリロフのレッスンをうけた。1975年にサンパウロ市ベストアーティスト賞受賞。

都立芸術高校を経て東京芸術大学入学。田中千香士・原田幸一郎の両氏に師事。1985年に「ヴァンガード四重奏団」を結成、ヴァイオリン、ヴィオラ、編曲、作曲を担当。東京シティ・フィルハーモニー管弦楽団(1986-88)、新星日本交響楽団(1988-90)のコンサートマスターを経て、札幌交響楽団、広島交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団の客演コンサートマスターを務めた。その傍ら、山下洋輔、佐藤充彦、坂田明、チック・コリアなどのジャズミュージシャンと共演。その他にも数多くの即興音楽のライブの企画、演奏。1992年『四半世紀提琴人生記念』と題して幅広い分野にわたる内容の連続演奏会を企画。1993年にカーニバルカンパニー・カメレオンオーケストラ(C30)を橋爪恵一、山田武彦と共に結成、パステージュと即興の技巧を駆使した新しい様式を確立した。1987年よりCOBAのライブやレコーディングに参加。その後九州交響楽団(1998-2004)、仙台フィルハーモニー管弦楽団(2003-4)のコンサートマスターを経て、現在は名古屋フィルハーモニー交響楽団(1995～)、日本センチュリー交響楽団(2009.4～)のコンサートマスターを兼任。日本作編曲家協会、三



島由紀夫研究会会員。名古屋音楽大学教授。福岡においては、ミュージックステーション福岡特別講師をつとめ、リベルタ・グループで即興やジャンルを超えた演奏を展開。九大フィルハーモニーオーケストラ、福岡大学交響楽団、福岡OBフィルハーモニーオーケストラ、福岡市民オーケストラ、久留米市民オーケストラ、山口県交響楽団、その他のトレーナーを務める。

2002年フィルハーモニア福岡の定期演奏会を指揮。2005年よりフッペル平和記念鳥栖ピアノコンクールの本選および受賞記念コンサートなどにて福岡室内合奏団を指揮。2008年に鹿児島交響楽団定期演奏会にてマーラーの『巨人』を指揮。2009年佐世保市民管弦楽団、2011・2012年宗像フィルハーモニー管弦楽団、2012年山口県交響楽団・北九州交響楽団を指揮。2010年には九州管楽合奏団とクルト・ワイルのヴァイオリン協奏曲を共演。2007年6回にわたって福岡・大濠公園能楽堂にて『能楽堂 de クラシックシリーズ』をプロデュース。2010年にはジャズユニット「The Song Of Strings」をベースの丹羽肇、ギターの田口悌治と結成しCDをリリース。以後九州各地で演奏活動を展開している。九州室内管弦楽団メンバー。名古屋においてはクリンゲン・フィルハーモニー、アンサンブル・コレージュ、南山大学、および愛知大学院大学などのオーケストラを指揮。2010年より名古屋大学オーケストラを指揮。

執筆活動としては弦楽専門誌「ストリング」に「カメレオン遁走記」を連載していたほか、共著に「200CD ヴァイオリン・弦楽器の名曲・名盤を聴く」がある。

山口県交響楽団(団長 二井関成)は「オーケストラの灯を絶やすまい」という団員の熱意と多くの方々の支援によって、1955年の創設以来63年の歴史を歩んでまいりました。

現在では、さまざまな職業のメンバー約100名が、「みんなの山響」を合言葉に、音楽の感動と喜びを求めて積極的に活動しています。

主な活動としては、毎年12月に開催している定期演奏会、これまで県内延べ300校以上の小・中・高等学校を訪問して実施してきた「巡回芸術劇場演奏会」、山陽小野田市でのサマーコンサートをはじめ、アンサンブル

管弦楽 山口県交響楽団



や、小編成室内楽での依頼演奏、など、多彩な演奏活動を積極的に行っています。

また、「日本語による第九演奏会」や郷土を題材にした交響詩「秋吉台」(岡田昌大作曲)の初演など、特色ある活動にも意欲的に取り組み、これまでに山口県芸術文化奨励賞や地域文化功労章(文部科学大臣表彰)などを受賞しています。

これからも、県内で最も歴史のある交響楽団として、県内各地にシンフォニックな響きをお届けできるよう、より多くの方々に愛される県民オーケストラをめざして精進してまいります。

Yamaguchi Prefecture Symphony Orchestra

